

# 堂谷津の里 自然だより 2018年10月

2018. 10. 1

猛暑から解放され、一気に秋本番となりました。稲刈りを終えた田はひつじ穂が勢いよく立ちあがり、周囲を見渡すと、心なしか、木の葉の色もくすんできています。日当たりのよい林床には、秋の野草が咲いて、散策を楽しむことができます。



タデ科 ( イヌタデ



ハナタデ



ポントクタデ



ヤノネグサ )



イヌショウマ



サラシナショウマ



ツクバトリカブト



キバナアキギリ



シロヨメナ



ノコンギク



シラヤマギク



ユウガギク



ヤクシソウ



タマゴダケ



カラスウリ・実



コブシ・実



クサギ・実

## <季節メモ>



### ジョロウグモ

里山を歩いていたら、クモの巣に引っ掛かって大変！なんてことはありませんか？

この時期、大きな巣を張って、獲物を待ち構えているのはジョロウグモです。最後の脱皮をしたらいよいよ、交接の時です。よく見ると大きいメスに対して小さなオスが数匹、少し離れたところで待機しています。メスに獲物と間違われて食べられてしまわないように慎重にその時期を見定めているのです。

写真・編集：晝間